

平成29年度 第1回太田市公共工事入札等監視委員会 次第

日時：平成29年11月17日（金）

午後3時00分 から

場所：本庁舎4階 4B会議室

1 開 会

2 挨拶

3 事務局紹介

4 審 議

(1) 平成29年度上半期の入札契約状況について 【資料1】

(2) 平成29年4月～9月期入札契約の内容審査について 【資料2】

① 内容審査 No.1……太田西部幹線道路整備(その2)工事
〔総合評価落札方式〕

② 内容審査 No.2……太田西部幹線道路整備(その1)工事
〔総合評価落札方式〕

③ 内容審査 No.3……(仮)八王子山公園墓地納骨堂整備工事
〔設計－プロポーザル方式〕

(3) 平成29年度上半期資格停止措置状況について 【資料3】

※ 太田市発注建設工事等における事故についての報告

5 その他

6 閉 会

平成 29 年度 第 1 回太田市公共工事入札等監視委員会 会議概要

開催日時	平成 29 年 11 月 17 日（金）15:00～16:10
開催場所	本庁舎 4B 会議室（4 階）
出席者	[委 員] 小川委員長、田島副委員長、長谷川委員 大谷委員（欠席）、下山委員（欠席） [事務局] 相澤総務部長以下 6 名

1 開 会

2 あいさつ

《小川委員長》

平成 29 年度第 1 回の太田市公共工事入札等監視委員会の開催ですが、委員については変わらず 2 年目を迎えることとなりましたので、内容審査についても難しい話は抜きにしまして、分からない部分を率直に確認していただくなど、活発に積極的に議論していただければと思います。

本日もよろしくご審議お願いします。

《総務部長》

入札・契約の制度については、なかなかこれがという正解がないなかで、本市としてもいろいろ工夫しながら行っているところですが、今回議題となる総合評価落札方式なども、その工夫の一つということで、ぜひ委員の皆様からご意見をいただきたいと考えております。

本市としても、公正・公平な入札・契約制度を目指して日々業務を行っているところですが、今後、更なるより良い入札制度の実現に向けて積極的な取り組みを行うなかで、この委員会での提言についても参考にしてまいりたいと思いますので、忌憚のないご意見をいただけることを期待しております。本日はよろしくお願いたします。

3 事務局紹介

4 議 題 (進行:委員長)

(1) 平成 29 年度上半期の入札契約状況について

●平成 29 年度上半期の入札契約状況について (事務局より説明)

項 目	件 数	落札金額(円) (税抜き)	単純平均落札率 (対予定価格)	加重平均落札率 (対予定価格)
● 競争入札 (対前年比)	253 (92.67%)	2,237,920,000 (73.51%)	82.21% (0.67 ^ポ イト)	85.84% (1.27 ^ポ イト)
・条件付一般競争入札 (通常型)	167	1,911,830,000	81.65%	86.01%
うち総合評価落札方式	0	0	0.00%	0.00%
・条件付一般競争入札 (小規模型)	78	198,750,000	82.25%	82.61%
・指名競争入札	8	127,340,000	93.74%	88.58%
● 随意契約	8	174,600,000	97.98%	97.61%
うちコンペ又はプロポーザル	0	0	0.00%	0.00%
合 計 (対前年比)	261 (91.90%)	2,412,520,000 (76.02%)	82.70% (0.59 ^ポ イト)	86.59% (1.57 ^ポ イト)

●くじ引きによる落札件数の状況 (事務局より説明)

種 別		H29 年度上半期	H28 年度上半期
工 事		72.4%	76.0%
業務委託	建設コンサルタント	20.0%	20.8%
	役務	82.6%	73.4%
	業務委託 計	66.4%	59.1%
合 計		69.7%	70.8%

《 (1) 平成 29 年度上半期入札・契約状況について審議結果 》

◆平成 29 年度上半期入札・契約状況について

委 員 : 競争入札の 28 年度実績に比べて、競争入札の請負金額が 90 億ほど下がっている原因は何ですか？大きな事業が今年はないのですか？

事 務 局 : 大きな事業が減ったというよりは、全体の発注件数が減っています。

委 員 : くじ引きの状況について、舗装の割合が高いのは何か理由があるのですか？

事 務 局 : 太田市は他市に比べ土木、舗装に登録(入札参加資格)している業者が多く、入札方式も一般競争入札であることから、指名に比べ入札に参加できる業者が多くなるため競争が激しくなる傾向にあると考えられます。また、工事内容についても土木工事と比べ、発注案件が既存道路の舗装補修工事等であり施工しやすいことから、最低制限価格で積極的に入札してくる状況にあるため、くじ引きが多い結果となっています。

委 員 : 役務にある樹木の剪定なども平均よりもくじ引きが多いようですが、こちらも同じ理由ですか？

事 務 局 : 樹木剪定業務については、建設工事と違って、工事に係る材料、資材といったものが必要な訳でもなく、積算する経費の中で人件費が大きなウエイトを占めており、最低制限価格で受注しても採算が取れると判断して積極的に入札してきているのではないかと考えられます。

委 員 : 今は土木や建築工事での材料費の価格に関する状況はどうですか？

事 務 局 : 資材については、まだ上昇しているように聞いています。景気自体は、建設業界の方も落ち着いている状況ではないかと、ただ労働力、工事の担い手の方が不足している状況は続いているということで、仕事を取るにしても人材の確保が難しい状況であると聞いています。現状では材料の入手については一時ほど困難な状況ではないと思われれます。

委 員 : 人材不足の問題はこの地域の問題なのか？それとも全国的な問題なのか？どうですか？

事 務 局 : 全国的な問題と認識しています。東日本大震災以降、被災地の復旧に人材が大量投入されている状況の余波が現在も続いている状況で、加えて今後は東京オリンピックに関連する公共工事の発注が大量に予想されるため、地方でも国の改正に伴い労務単価は上げており、現在も単価は最新の状況に対応していますが、それでも人材の確保は厳しいようです。

(2) 平成 29 年 4 月～9 月期入札契約の内容審査について 【資料 2】

- ① 内容審査 No.1…太田西部幹線道路整備(その 2)工事 [総合評価落札方式]
- ② 内容審査 No.2…太田西部幹線道路整備(その 1)工事 [総合評価落札方式]

○内容審査案件 No.1～No.2 (事務局より説明)

● 発注概要 [総合評価落札方式による契約方式を選定した理由]

今回の審査案件は、平成 28 年 9 月 15 日公告、10 月 10 日開札した案件で、いずれも総合評価落札方式で実施しました「太田西部幹線道路整備工事」について内容の審査をいただくわけですが、最初に太田西部幹線道路の概要を説明します。

市道太田西部幹線は、寺井町から下田島町まで、延長 6,150m の都市計画道路ですが、今回の工事は、県道前橋館林線と県道太田境東線を結ぶ延長 2,040m の区間を整備するもので、この地区は、新田東部工業団地の拡張をはじめ、今後工場集積が見込まれることから、物流の円滑化を図るため早急に整備する必要性が高く、また工事では、昼夜にかけて交通量の多い県道前橋館林線との交差部など、極めて高度な技術力が求められることから、総合評価落札方式を採用した一般競争入札を実施しました。

● 総合評価落札方式についての概要説明

総合評価落札方式は、民間企業の持つ優れた設計、施工方法に関する技術力を活かすことで、公共工事の総合的な価値を高めることを目指した新しい方式です。このため総合評価落札方式では、「価格」のほかに「価格以外の要素(技術力)」を評価の対象に加えて、品質や施工方法等を総合的に評価し、技術と価格の両面から見て最も優れた案を提示した者を落札者とします。

総合評価落札方式では、「価格競争」にプラスして、例えば、企業や技術者の工事成績や、過去の施工実績、また優良表彰の有無等の「価格以外の評価」を総合的に加味して、落札者を決定する方式で、太田市では価格点を約 8 割、価格以外の評価点を約 2 割として、評価配分しています。

※総合評価落札方式における「価格以外の評価」については、国や都道府県等では、企業の技術提案力を評価対象とした方法を採用している場合もあるが、市町村では、「過去の実績」にフォーカスしたいいわゆる簡易型と呼ばれる総合落札方式がほとんどであり、太田市もこれを採用しています。

内容審査 No.1 概要			
案件名	太田西部幹線道路整備(その 2) 工事		
発注形態	条件付一般競争入札 (総合評価落札方式)		
概要	施工延長 L=553.9m 表層工 (車道) A=8875.3 m ² 表層工 (歩道) A=911.6 m ² L 型側溝 (長尺) L=201.5m GPU2 300*500 L=62.1m 自由勾配側溝 300*500 L=42.7m 植樹ブロック 15*18*90 L=209.2m 区画線工 一式		
主な入札参加資格要件	(1)工種:舗装 特定建設業許可 (2)等級:A 等級 (3)市内 ※「その 1」と取り抜け条件あり		
予定価格	131,700,000 円(事後公表)	落札価格	116,600,000 円
最低制限価格	114,420,000 円(事後公表)	落札率	88.53%
落札業者	岩崎工業 株式会社		
入札結果	入札の結果、15 者から入札があり、うち 4 者が辞退、6 者が最低制限価格未満による失格。 [価格点] 有効札の 5 者について、基準に基づき配点した結果、最低入札金額であった。 「石橋建設工業(株)」「岩崎工業(株)」「(株)石宝」の 3 者が、最高点 82 点の配点となった。 [価格点以外の評価] 入札者(辞退除く) 11 者について、評価基準に則し配点した結果、14.094 ポイントで 「岩崎工業(株)」が最高評価点となった。 結果、「価格点」+「価格以外の評価」=総合評価点で、最高評価点となった「岩崎工業(株)」が落札者に決定した。		

内容審査 No.2 概要			
案件名	太田西部幹線道路整備(その1)工事		
発注形態	条件付一般競争入札(総合評価落札方式)		
概要	施工延長 L=580.0m 表層工 A=7495.8m ² 基層工 A=2690.6m ² 上層路盤工 A=2170.4m ² 下層路盤 A=1586.5m ² 側溝工 L=311.1m 路面切削工 L=1496.8m ² 区画線工 一式		
主な入札参加資格要件	(1)工種:舗装 特定建設業許可 (2)等級:A 等級 (3)市内 ※「その2」と取り抜け条件あり		
予定価格	88,510,000 円(事後公表)	落札価格	79,500,000 円
最低制限価格	76,520,000 円(事後公表)	落札率	89.82%
落札業者	荻原建設 株式会社		
入札結果	入札の結果、14 者からの入札があり、うち 4 者が辞退、1 者が予定価格超過による失格、1 者が取り抜けの入札条件により対象外。 [価格点] 有効札の 8 者のうち、基準に基づき配点した結果、最低入札金額であった「倉和建設(株)」が最高点の 82 点の配点となった。 [価格点以外の評価結果] 入札者(辞退除く)9 者について、評価基準に則し配点した結果、15.747 ポイントで「荻原建設(株)」が最も高く、価格点で最も高かった「倉和建設(株)」は第4位となった。結果、総合評価点では、「価格点」で第4位、「価格以外の評価」で最高点であった「荻原建設(株)」が、次点と 0.361 ポイントの差で落札者に決定した。		

《(2) 平成 29 年 4 月～9 月期内容審査についての審議結果》

◆内容審査案件 No.1、No.2 について

- 委員：総合評価落札方式の評価配分が 8 対 2 で、価格以外の評価が 2 ということだが、「価格以外の評価」の評点の方が差がついているのはなぜですか？
- 事務局：価格以外の評価点は、参加を希望する企業における「企業関係評価項目」は企業としての過去の工事評価、「技術者関係評価項目」は、今回の工事に配置を予定している技術者個人の実績等の評価が点数化されるもので、各企業によって違うためそれが差となります。
- 委員：「企業関係評価」の工事成績評定が高い業者は、その企業が施工した工事の評価が全体的に高い業者という考え方で良いのですか？
- 事務局：はい。企業として太田市で優良工事(80 点以上対象)を沢山すればそれだけ加算されます。
- 委員：太田市西部幹線道路整備(その 2)工事では、入札者のうち最低制限価格未満で失格という業者が何社ありますが、これは設定された最低制限価格を下回った金額で入札したため失格という考え方だと思いますが、この場合、太田市が設定する最低制限価格と業者が積算する価格とでどの辺に差異があると考えますか？
- 事務局：最低制限価格を設定する最大の理由は品質確保であり、業者が提示できる価格が制限価格以下でできるということであればそれで良いのではないかという議論もありますが、市としては原材料価格、労務単価、下請負等様々な問題がある中で、国の示している基準モデルに基づき最低限必要な単価を積算して価格を設定しているもので、市と業者でその積算方法に差異があると考えられます。
- 委員：市内で A クラスといわれている業者が、何社も最低制限価格以下で失格となっているが、この業者がすべて有効なら価格以外の評価はみんな高得点であることから、最低制限価格と品質のバランスについてどう考えていますか？
- 事務局：総合評価落札方式を採用した発注方法は、国からの指導もあり、大規模な工事を発注する場合、価格のみの競争ではなく、価格以外の条件も評価することで、総合的に最も良い条件を提示した業者を落札者とする事で、競争性の確保と併せ、公共工事の品質も確保されるという考え方のもと試行している状況であり、最低価格と品質のバランスも含めて、発注方法、条件等について今後も慎重に検討していきたいと考えています。

- 委員：技術者の評価項目の中で工事評価評定が0.000点の者もいるが、これはなぜですか？
- 事務局：配置予定の技術者が、太田市の発注工事を担当したことがない場合、検査による評価を受けていないためこのような結果となります。
- 委員：企業関係評価項目の評価点は、各業者とも事前にわかるものですか？
- 事務局：他の業者の評価点数はわからないと思いますが、自分たちの評価点数は、各々が評価基準表に基づき点数を積み上げれば評価点は計算できるため、概ね把握していると思います。
- 委員：総合評価方式による発注は、今後増やしていこうと考えていますか？
- 事務局：太田市では平成20年から発注をしているが現在でもまだ試行という形を取っています。一方で昨年の第2回監視委員会の議案で説明しましたが、運動公園野球場の発注では、技術提案型のプロポーザル方式を採用しており、どちらかという実績重視型の総合評価方式と、技術提案型のプロポーザル方式をどういう形で使い分けていくかというのを今後の課題としています。いずれにしても価格と品質双方にバランスのとれた質の高い工事を施工してもらえるよう今後の方向について検討していかなければならないと考えています。

③ 内容審査 No.3……(仮)八王子山公園墓地納骨堂整備工事〔設計・プロポーザル方式〕

○ 内容審査案件 No.3 (事務局より説明)

●経過説明

八王子山公園墓地については、申込者が非常に多く、墓地の区画残数も少なくなりつつある中で、今後も継続した需要が予想されているが、既設の墓地を拡張することは困難な状況であることから、今回審議していただく案件は、既存の事務所を改修し、1,500基の納骨ロッカーを有する納骨堂を整備するほか、新たに管理事務所や駐車場を整備する工事となります。

この納骨堂整備工事は、当初、設計・施工一貫プロポーザル方式を採用し実施しましたが、応募がなかったことから、設計プロポーザル方式に変更し実施した結果、(株)北村建築設計事務所が特定されました。

工事の概要及び入札結果ですが、入札方法は条件付一般競争入札、予定価格1億3240万円、最低制限価格1億1,800万円、建築一式、Aランク特定建設業許可、市内で発注したところ、入札参加10者、うち辞退2者、無効1者、最低制限価格の4者によるくじの結果、落札者は(株)石宝、落札率は89.12%、工期は平成30年2月28日までの工事となります。

内容審査 No.3 概要			
案件名	(仮)八王子山公園墓地納骨堂整備工事		
発注形態	条件付一般競争入札 (通常型)		
概要	工事種目：改修(納骨堂)、新築(事務所棟)、解体(屋外便所)、外構工事 納骨堂(改修)：S造 地上1階 延床面積368.24㎡ 建築面積 455.28㎡ 事務所棟(新築)：木造 地上1階 延床面積88.76㎡ 建築面積 111.82㎡ 屋外便所(解体)：S造 地上1階 延床面積 11.68㎡ 上記に関する建築工事一式、電気設備工事一式、機械設備工事一式、外構工事一式		
主な入札参加資格要件	(1)工種:建築一式 特定建設業許可 (2)等級:A等級 (3)市内		
予定価格	132,400,000円(事前公表)	落札価格	118,000,000円
最低制限価格	118,000,000円(事前公表)	落札率	89.12%
落札業者	株式会社 石宝		
入札結果	●参加申請があった10者中2者辞退、1者無効(提出書類錯誤)、残り7者入札。 ●4者最低制限価格での入札となり、くじ引きで落札者を決定。		

《(2) 平成 29 年 4 月～9 月期内容審査についての審議結果》

◆内容審査案件 No.3 について

- 委員：工事の話ではないが、最近墓地が荒れているという話を聞くと、この八王子山公園墓地とは普通のお寺の墓地と違うのですか。どのような墓地なのですか？
- 事務局：共同霊園なので永代使用料と管理料を収めていただく。墓地の使用料が 550,000 円、年間の管理料が 5,000 円、市が特別会計を組んでやっているため、納付された資金で運営していますが、当初から使用している方の中には、後を継ぐ人がいなくなってしまったため、滞納も若干出ている状況です。条例等で定められた期間を超えて滞納が続いた場合、強制的に返還となり、その区画は新たな整備を経て次の方に貸すということになります。そのような状況も踏まえて、墓地ではなく遺骨だけ保管できる施設がほしいという声が多いことから、納骨堂整備という形をとったと聞いています。計画では、納骨堂はロッカータイプで 1,500 体ほど納められるようになるということです。
- 委員：八王子山公園墓地の管理について、草むしりや芝刈りなどは誰がやっているのですか？借りた人が各々やるのですか？
- 事務局：年間の管理料を資金として直営で管理しています。
- 委員：八王子山公園墓地は、今後区画を増やす予定はないのですか？
- 事務局：土地の関係でもう増設する場所がないと聞いています。現状では最終分譲分が最近終了し、残りは、遺骨があり急遽必要となった市民に優先的に分譲する分しか残っていないと聞いています。(墓地の拡張については未定)
- 委員：このような公共の納骨堂は、他の自治体でもやっているのですか？
- 事務局：近隣の自治体ではあまり聞きませんが、太田市では公共墓地として八王子山公園墓地の実績があることから、このような施設の整備についても市民から要望が多いと聞いています。
- 委員：今回の審査案件について、設計をプロポーザルで実施したとの説明があったが、公共事業としてこのような施設を企画して、一から設計するためのアイデアを募るためにプロポーザルを実施したという考え方でいいですか？
- 事務局：建物を新たに建築するだけの土地もないことから、既存の管理棟を改修して納骨堂とするための技術提案をプロポーザル方式で実施したもので、そのプロポーザルにより特定された業者による設計を基に一般競争入札で発注したのが今回の工事となります。発注内容は、市内の建築 A に登録された業者 10 者が参加し、最低制限価格でくじにより落札が決定されましたが、最低制限価格で応札した業者が 4 者あることから、適正な競争入札であったと考えています。

(3) 平成 29 年度上半期資格停止措置状況について

【資料 3】

(事務局より説明)

○平成 29 年 4 月～9 月期資格停止措置状況

No.1	
業者名	株式会社 深澤造園
工事名等	平成 29 年度東矢島土地区画整理事業区域内除草業務委託
事由	(株)深澤造園は、当該除草業務委託の現場において、管理技術者が草刈り機(キャタピラ付自走式)を使用して草刈り作業をしていたところ、バックギアに入れて走行していた際に、ステップから落下し、草刈り機のキャタピラ部に巻き込まれ下敷きとなって死亡した。
資格停止該当事項	安全管理不適切により生じた建設工事等関係者事故 (当該認定をした日から 2 週間以上 4 箇月以内)
停止期間	1 ヶ月間

《(3) 平成 29 年度上半期資格停止措置状況についての審議結果》

◆平成 29 年度上半期資格停止措置状況内容審査について

- 委員：入札審査委員会に付議され決定し、最終的には市長により処分が決定されたと説明がありましたが、決定理由、措置内容は公表されているのですか。
- 事務局：詳細な会議内容等は公表していませんが、太田市入札参加資格停止措置要領の該当条文等の措置状況については、『ぐんま電子入札共同システム』内の『入札情報公開サービス』で公表しています。
- 委員：処分決定に至る経過、決定理由等について情報公開の請求が出た場合はどのような対応になるのですか？
- 事務局：太田市の情報公開に関する条例、規則に基づき対応いたします。

5. その他

(特になし)

6. 閉会

《総務部副部長》

本日第1回の入札等監視委員会ということで、慎重審議いただきまして、審議案件についても概ね適正であるとの審議結果をいただきありがとうございます。

審議の中で委員の皆様からの忌憚のないご意見をいただきまして、太田市の入札制度をより良いものとするため、これからも見直しをかけていく上で非常に参考になりました。今後とも公正、公平な入札執行に取り組んでいきたいと考えておりますので、これからもよろしくお願ひしたいと思います。本日はありがとうございました。